

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司
発行元：座間市相模が丘3-24-2-203
連絡先：046-204-5911（ファックスも同じ）

おぎはら健司の市政レポート

平成26年第一回定例会開会

去る2月21日(金)に、平成26年第一回定例会が招集されました。この定例会では主に平成26年度当初予算(案)を審議いたします。

その当初予算(案)の内容を簡単に説明いたしますと、一般会計当初予算は381億1,473万3千円(前年比5.9%増)、特別会計4事業(国保・公共下水道・介護保険・後期高齢者保険)と、水道事業会計を含めた総予算は677億4,857万2千円(同3.9%増)と、いずれも当初予算としては過去最大とされております。

その内訳は、人件費や物件費、民生費等、ランニングコスト的要素の「消費的経費」が350億9,549万2千円(同2.8%増)、一方でインフラ等を充実させるための「投資的経費」は30億1,924万1千円、前年当初予算と比べて11億4,515万6千円増(同61.1%)を計上しております。

過去のレポートでもお話した通り、市と国とをつなぐパイプ役を果たし様々な工夫を重ねて12億745万9千円という大規模な「社会資本整備総合交付金」を確保できた事が大きく貢献していると、胸を張らせてを頂きたいと思っております(^)

また、平成25年度補正予算についても、2月6日に国会にて成立した「好循環実現のための経済対策」を最大限活用し、市民の皆様からの要望が多かった北地区文化センターの耐震設計・エレベーター設置基本設計の予算等を始めとする、こちらも「社会資本整備総合交付金」を確保する事ができました。

その他に新たに投資する積極的なインフラ整備予算を相模が丘周辺で申し上げれば、市道6号線(辰街道)の歩道整備(5丁目地域内)や、歩道用地の買収・整備(これで6丁目地域の歩道整備が全て完了)、小田急相模原駅西側再開発事業の計画変更等への着手、カレスト座間跡地再開発による交通渋滞緩和策として市道38号線(座間ゴルフクラブ付近の道路)の拡幅に向けた用地買収と整備や小松原交差点(リンガーハットの交差点)の改良工事に向けた調査事業、仲よし広場(3丁目)のフェンス改修、仲よし小道(通称さくら道)再生整備事業(最終工区)等々、枚挙に暇がないほど充実をしております。

また、高齢者のための施策としては前述の北地区文化センターへのエレベーター設置事業の

推進や、こちらにも要望の多かった公共施設のトイレ改修(洋式化)のための予算や特別養護老人ホームの増床(100床新設+30床増床)、子育て世代のための施策としては、小児医療費助成事業の拡大(小学4年生までを6年生まで拡大〔10月より〕)や中学校給食導入に向けた準備(27年度から試験的に2校で実施)、児童・生徒のための施策としては市内全小中学校の教室への空調設備設置(相模中は昨夏設置完了、相模が丘小は今年の夏休みに設置予定、相模野小は防音工事として既設)等、積極的な内容となっております。

さらに、投資ばかりに偏らないよう、冒頭に紹介した通り、消費的経費を減らす事なく投資的経費を充実させた内容となっております。

また、特筆すべきは平成20年のリーマンショック以降は激増の一途を辿っていた生活保護扶助費は、座間市が独自に取り組んできた就労支援策が奏功し、2300万円と少額ではありますが初めて減額された予算(案)となっております。

これらの予算(案)については、その内容について各常任委員会にて審議を致しますが、今年度、私が所属をしている都市環境常任委員会は、まさにこれらの投資的経費の大部分を審議する大事な委員会としますので、議会としての責務を果たせるよう無駄がないようチェックをしたいと思っております。否決されてしまっただけに描いた餅で終わってしまうので、そのバランスに注意しながら審議に当たりたいと思っております。

雪の「さくら百華の道」

先日の雪のあと、相模が丘地域内を歩き回っていた祭りに撮影したさくら百華の道の様子です。



この週末、さくら百華の道で恒例となりつつある「ひな祭り」が開催されます。

3月1日・2日の両日、有志による露店(僕も手伝います!)も予定されていますので、お時間のある方も是非お散歩がてら、ご来場下さい(^)